

講演者プロフィール

(敬称略)

喜連川 優 (きつれがわ まさる)

情報・システム研究機構機構長

東京大学 特別教授、総長特別参与

- 1983年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。データ工学の研究に従事。
- 2010年より東京大学地球観測データ統融合連携研究機構長、2013年より国立情報学研究所所長などを経て、2021年より東京大学特別教授、2023年より情報・システム研究機構機構長。情報処理学会会長（2013-2015年）、日本学術会議情報学委員長（2014-2016年）などを務める。
- 2009年にACM SIGMODエドガー・F・コッド革新賞、2011年に情報処理学会功績賞、2015年に全国発明表彰「21世紀発明賞」、C&C賞、2019年に電子情報通信学会功績賞、IEEE Innovation in Societal Infrastructure Award、2020年に日本学士院賞、2023年には日本データベース学会特別功労賞、FIT船井業績賞などを受賞。2013年に紫綬褒章、2016年にはレジオン・ドヌール勲章を受章。
- ACMフェロー、IEEEライフフェロー、中国コンピュータ学会栄誉会員、電子情報通信学会名誉員、情報処理学会名誉会員。

曄道 佳明 (てるみち よしあき)

上智大学 学長、一般社団法人日本私立大学連盟 副会長

- 慶應義塾大学理工学部卒業。博士（工学）。上智大学理工学部教授、学生センター長、入学センター長、学務担当副学長等を経て2017年より現職。
- 専門はマルチボディダイナミクス、機械力学。
- 機械力学およびその境界領域に関わる工学的なアプローチにより、主に鉄道システムや探査システムなど、高度な機能、複雑な構造を有する機械システムを対象に、現象のメカニズムの解明や諸課題に対する対応策を構築することに取り組んでいる。
- 現在、日本私立大学連盟副会長、文部科学省中央教育審議会(大学分科会)臨時委員等も務める。

角田 和巳 (つのだ かずみ)

芝浦工業大学 工学部 機械工学科教授
教育イノベーション推進センターIR部門長

- 芝浦工業大学工学部機械工学科卒業。東京工業大学大学院総合理工学研究科エネルギー科学専攻博士課程修了。博士（工学）。1993年 芝浦工業大学工学部機械工学科に講師として着任後、2003年 同学科助教授を経て2008年から現職。
- 流体力学を基盤として、エネルギー変換システムの効率化や様々な機器のエネルギー損失低減、構造物周辺の環境改善などを目指した研究に従事。現在の主な研究テーマは、固体酸化物形燃料電池の流量分配制御および熱流体挙動の最適化、プラズマを利用した流体制御技術の開発など。
- 2015年より公益社団法人 私立大学情報教育協会 常務理事、主な著書として『大学のデジタル変革：DXによる教育の未来』（共著 東京電機大学出版社）

巳波 弘佳 (みわ ひろよし)

関西学院大学 副学長、情報化推進機構長、工学部情報工学課程教授
関西学院大学×日本 IBM AI 共同プロジェクト統括。AI 活用人材育成プログラム統括。

- 東京大学理学部数学科卒業。日本電信電話株式会社(NTT)入社、NTT 通信網総合研究所研究員、研究主任を経て、2002 年関西学院大学理工学部情報科学科専任講師、助教授を経て、2012 年教授。京都大学博士（情報学）。
- 研究分野は数理工学。AI（人工知能）の高性能化、リアルな CG の製作、新材料開発、創薬、ブロックチェーン、インターネット設計・制御・性能評価技術、宇宙物理学や化学、医学におけるビッグデータ解析など、さまざまな応用領域において、数理的な研究から実用化まで幅広く行っている。
- 文部科学省 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムモデルカリキュラムの全国展開に関する特別委員会委員、兵庫経済雇用戦略推進会議委員等も務める。

山中 司 (やまなか つかさ)

立命館大学 生命科学部教授

- 慶應義塾大学総合政策学部卒業。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程修了。博士（政策・メディア）。立命館大学准教授を経て現職。
- 専門は英語教育政策・教授法、言語コミュニケーション論、言語哲学（プラグマティズム）。研究テーマは「プロジェクトの手法を用いた大学英語教育の有効性とその評価に関する研究」。
- 主な著書に『プラグマティズム言語学序説：意味の構築とその発生』（共著、ひつじ書房）、『プロジェクト発信型英語プログラム：自分軸を鍛える「教えない」教育』（共著、北大路書房）など。

増谷 文生 (ますたに ふみお)

朝日新聞社 論説委員（教育） 兼 編集委員（高等教育）

- 栃木県立宇都宮高校、大阪市立大（現大阪公立大）卒業。
- 1994年に朝日新聞社入社、仙台、東京、名古屋、京都、大阪などで勤務。
- 2005年以降、断続的に10年、高等教育を取材。